

葉山町下水道事業アセットマネジメント計画
改訂等業務委託 公募型プロポーザル

事業者選定結果報告

令和5年7月

葉山町下水道事業アセットマネジメント計画改訂等業務委託
事業者選定委員会

1 事業者選定委員会の構成

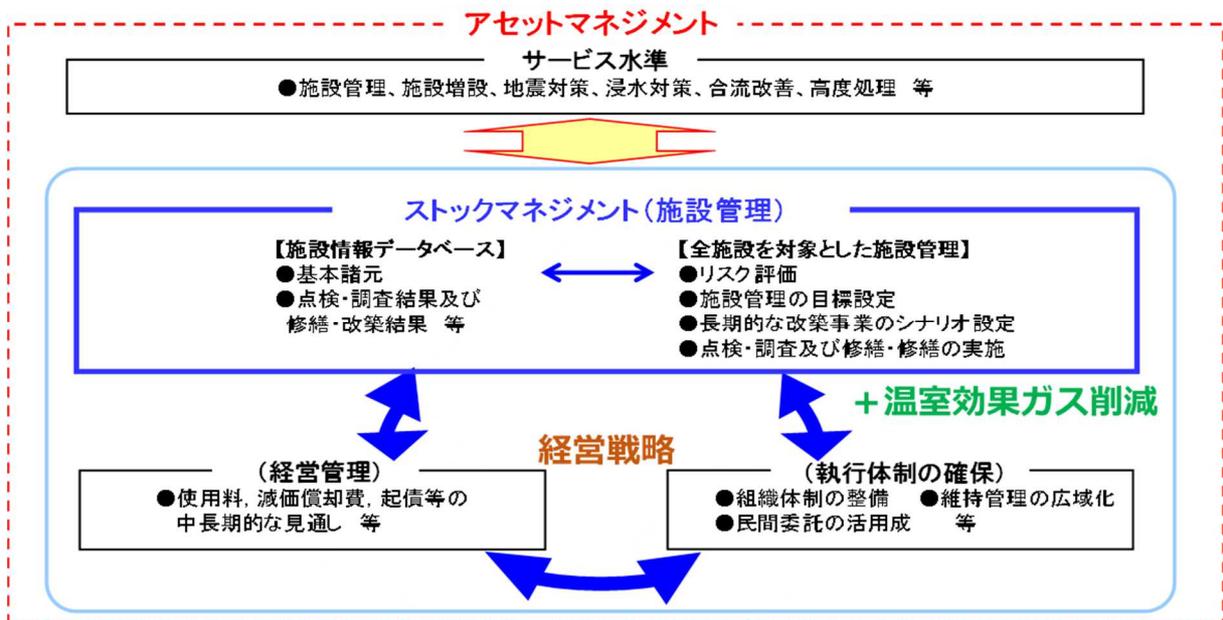
■事業者選定委員会は、以下の5名により構成されている。

委員長	葉山町環境部 部長 新倉 利勝
委員	葉山町政策財政部 部長 町田 伸
委員	葉山町環境部下水道課 課長 藁科 義和
委員	葉山町政策財政部財政課 課長 大内 友弘
委員	葉山町総務部総務課 課長 西尾 直樹

2 業務内容及び業務期間

■業務内容

- ①ストックマネジメント計画改訂業務
- ②経営戦略改訂業務
- ③温室効果ガス削減に向けた基本検討業務
- ④下水道使用料改定業務



■業務期間

- ・約3年間（契約締結後～令和8年3月31日）

3 応募者

担当課において、下水道業界誌への情報発信等積極的に募集に関し周知を行いましたが、応募者は以下の1者のみとなりました。応募者が1者の場合であってもプロポーザルの実施は有効であり、失格となる要件としては、以下の事業者選定基準で定めている内容となります。

○業者選定基準として、提案技術の評価点（90点満点）と提案価格の評価点（10点満点）を合計して総合審査の評価点（100点満点）を算出し、総合審査の評価点が60点以上であったもののうち、最も点数が高い資格審査通過者を優先交渉権者として選定する。と記載しているため、60点以下であった場合は、失格となります。

提案者 A 株式会社 NJS 横浜事務所

4 総合審査の結果

公表した事業者選定基準に則り評価を行いました。

(1) 提案価格の評価

$$\text{提案価格の評価点} = \left(1 + \alpha \diamond - \frac{\text{提案額}}{\text{提案上限額}} \right) \times \text{配点 (10点)}$$

◆庁内の同種業務における平均落札率：0.7 ※配点は10点を上限とする。

$$10 \text{点} \times \left(1 + 0.7 - 75,370,000 \div 77,738,000 \right) = \underline{7.3 \text{点}}$$

(2) 総合評価の結果

評価項目（大項目／中項目／小項目）	配点	Aグループ
1. 技術評価点	90	66.9
1-1 事業全体に関する事項	16	12
(1) 基本方針に関する提案	4	3.4
(2) 事業計画に関する提案	8	6
(3) 研修・説明会に関する提案	4	2.6
1-2 スtockマネジメント計画に関する事項	28	20.6
(1) 管路施設に関する提案	8	5.8
(2) 処理場・ポンプ場施設に関する提案	16	12
(3) その他建設業務に関する提案	4	2.8
1-3 経営戦略に関する事項	14	10.7
(1) 経営戦略に関する提案	10	7.7
(2) その他業務に関する提案	4	3
1-4 温室効果ガス削減に向けた基本検討に関する事項	12	8.6
(1) 温室効果ガス削減に向けた基本検討に関する提案	8	6.0
(2) その他業務に関する提案	4	2.6
1-5 下水道使用料改定に関する事項	20	15
(1) 下水道使用料改定に関する提案	16	12.4
(2) その他業務に関する提案	4	2.6
2. 価格評価点	10	7.3
2-1 費用に関する評価	10	7.3
3. 総合評価点（1+2）	100	74.2

※評価点は、事業者選定委員5名の平均値となります。

(3) 優先交渉権者の決定

事業者選定委員会は、総合審査によって決定した得点をもとに、提案者を優先交渉権者として選定した。

優先交渉権者 株式会社 NJS 横浜事務所

5 総評

事業者選定委員会では、応募者が提出した提案書の評価に加え、プレゼンテーションによる提案内容の確認を踏まえて、総合的に審査を行いました。

応募者は A グループのみでありましたが、要求水準を超える（総合評価 60 点以上）提案がなされていません。

提案内容に関する主な意見としては、以下の 5 点ありました。

- ① 町の現状を正確に捉え、町単独だけでなく広域化事業を踏まえた検討を行う提案
- ② モノ・カネ・環境の 3 本柱で併行かつ連携させた最適な工程表の提案
- ③ 調査時における DX（IoT センサー、全天球カメラ）を活用した調査手法・技術の提案
- ④ SM 計画見直し、温室効果ガス削減対策の検討内容を反映させた経営戦略改訂の提案
- ⑤ 下水道使用料における現行使用料体系の現状分析、見直し方針に至る解説が明確

一方で、応募者独自提案部分において説明不足が感じられるなど、一部懸念される事項があったことを踏まえると、本業務における優先交渉権者が提案内容を実行するに当たっては、葉山町環境部下水道課と緊密な協力関係を構築のうえ、本業務が適切かつ効率的に実施されるよう努めるとともにプロポーザル関係資料、事業提案プレゼンテーション及びヒアリング等で示した内容を確実に履行することが重要となります。

優先交渉権者には、葉山町下水道事業が財務の健全性確保等が強く求められていることを肝に銘じ、計画改訂にあたっては優れたノウハウを如何なく発揮されることを願って総評とします。